

みんながワクワク!

袋小だより

令和5年度10月号

校長 徳成 聡

令和5年10月30日

「行事目白押しの9月・10月でした」

9月・10月は、本当に多くの行事がありました。子供たちも、複数の行事の準備を平行して行いながら、それぞれの行事で多くな学びを得、成長していきました。

袋っ子体育フェスティバル



たくさんのご声援ありがとうございました。また、準備・片付けのご協力も大変お世話になりました。

火のまつり

P T A行事として、4・5年生が参加し、2001水俣ハイヤ節を披露しました。

修学旅行



意欲的に学び、しっかり楽しむ姿が見られました。

里帰り講演

熊本県出身で東京で社長をされている方から、職業について、未来についてお話を伺いました。

稲刈り・脱穀



みんな協力しながら体験をさせていただきました。

水俣に学ぶ肥後っ子教室



水俣病のこと、環境のことをより深く学びました。

この他にも、多くの行事がありました。子供たちの充実した活動のために、毎日の授業準備と並行して、職員も精一杯頑張りました。

市小体連陸上記録会

5・6年生が、素晴らしい頑張りをを見せてくれました。入賞者も多数でした。

水高木工教室

水俣高校建築科のご協力のもと、卒業制作として、給食配膳台を製作しました。

6年生・1年生で研究授業

多くの行事がある中、授業の充実に向けて、6年生と1年生で研究授業を行いました。

6年生研究授業



社会科で、「どうやって鎌倉幕府は元寇を退けたのか。」「元寇の後なぜ幕府は滅びたのか。」について、教科書・資料集・タブレット等の中から、各自が選択して調べました。また、各自の必要に応じて、一人で調べたり、2人、グループを作って考えを共有したりする姿も見られました。これまで、よく行われてきた、先生が教える学習ではなく、子供たちが自らの力で学んでいく学習が行われました。

1年生研究授業



算数で、繰り上がりのある足し算の学習でした。前の時間まで、「9+4」等、右側（加数）が小さい場合の学習でしたが、この時間は「3+9」と右側が大きい場合を考えました。10をつくるために、前の時間のように右側（9）を分解するのか、左側（3）を分解するのか、自分たちの力で考えていきました。答えを求めるだけでなく、そこまでの考え方をみんなで発見していきました。